

大義なき解散にNO!

税金約730億円の公費負担

※2024年衆院選

議員定数1割削減で、捻出される金額は年約40億円。
その18年分を、1回の選挙で費やします。
衆議院議員の任期は4年。
しかし政治家の都合で、約1年3ヶ月で解散。
税金の無駄です。
必要なのは解散ではなく、暮らしの支えです。

予算成立を最優先!

解散で生活支援を遅らせない

新年度予算が止まれば、給食費無償化などの新規給付・補助が遅れます。
国民生活に直結する政治を最優先に。

物価高から暮らしを守る!

前回公約の食品消費税0%と
寒冷地支援の拡充

灯油・電気・ガスなど、寒冷地のエネルギー負担を軽くする対策を前へ。
松木けんこうが以前から公約として取り組んでいる「**食料品の消費税0%**」を実現し、さらなる現実的な減税を目指します。
(党公約以上の提案)

しあわせの
土台づくり

Create a foundation for happiness
KENKO MATSUKI

「しあわせ」は政治が作るものではありません。「しあわせ」のかたちは、人の数だけ様々であり、皆さんがそれぞれに築きあげていくものです。

しかし、しあわせを築くためには、「**暮らし・経済が安定していること**」「**平和であること**」という土台が大切です。そのためには、すべての人が「**支えて**」であると同時に「**受益者**」であると感じられる新しい仕組みが必要です。

都市と地方、障がいの有無、正規雇用と非正規雇用、高齢者と若者、社会保障の受益者と支え手など、社会を分断する溝を乗り越え、共に支え合う社会の実現を目指します。

政治の役割は皆さまの「しあわせ」のかたちを、一つひとつ応援する土台づくりです。

松木けんこう
の基本理念

松木けんこうは、皆さんの命と暮らしを守り、「しあわせの土台づくり」に邁進いたします。

松木けんこうのプロフィール

1959年2月22日生まれ(66歳)

◇学歴 札幌大蔵学園札幌幼稚園・幌北小学校、北辰中学校を経て、新琴似中学校、札幌光星高等学校、青山学院大学

◇職歴 藤波孝生元官房長官の秘書

学校法人淳心学園理事長(札幌わかさ幼稚園・北海道千歳リハビリテーション大学)

(株)北海道通信社 代表取締役社長

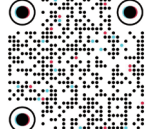
北海道ボクシング連盟名誉会長、北海道アーチェリー連盟会長、北海道トランポリン協会会長(道央トランポリン協会会長兼務)

北海道バイアスロン連盟副会長

◇政治の歩み

2003年第43回衆議院議員選挙にて初当選以降7回当選

農林水産大臣政務官、衆議院決算行政監視委員長、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長を歴任



生活者ファーストの政治の実現へ

物価高対策・地域経済・格差是正

前回公約の食料品消費税0%を実現し、さらなる減税を目指します（党公約以上の提案）。

- ・寒冷地のエネルギー料金（灯油・ガス・電気など）支援を拡充。
- ・円安影響における中小企業への支援と、社会保険料の負担減。
- ・社会保険加入の「130万円の壁」を引き上げ、手取り増と人手不足解消へ。
- ・AI・半導体の推進と人材育成を強化し、「北海道で学べば、北海道で働ける」環境へ。
- ・道内の農林水産加工業を後押しし、食料自給率向上など安全保障を強化。
- ・非正規の処遇改善と正規化を進め、「同一価値労働・同一賃金」を実現。



子どもを育てやすい国づくり

過去にない規模で子育て支援を拡充し、育てやすい環境へ。

- ・教育費・給食費の無償化を推進。
- ・子育て施策の所得制限を撤廃。
- ・児童虐待・いじめ・自殺に対応する相談体制を強化。
- ・奨学金返済の免除制度を拡充し、既に返済している人の債務も減免。



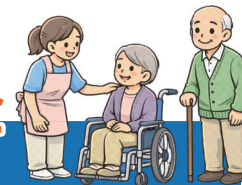
除雪・交通対策

- ・国交付の除排雪費用の基準を明確化し、体制を強化。
- ・バス路線維持へ、事業者支援を強化。
- ・人と貨物の重要インフラであるJR北海道の支援と、北海道新幹線早期延伸。
- ・丘珠空港の利活用と周辺整備を進め、自動運転バスなど先端技術を導入。



松木けんこうは
やりきります

医療・介護・福祉・年金



- ・救急・周産期医療の持続可能な体制構築に向けて、DX化とチーム医療を推進。
- ・地域包括ケアシステムにおける医療・看護・介護・福祉の重層的支援を強化。
- ・医療や福祉介護従事者の増員と待遇改善に向けて、物価高に沿った診療・介護報酬を見直し。
- ・障がいのある方への支援と就労機会を拡大し、共生社会の実現へ。
- ・公的年金制度の一元化と年金制度の抜本改革を推進。



防災・領土・環境

- ・地域特性を踏まえた防災・減災計画を策定し、体育館など避難所の冷房設置を推進。
- ・北方領土の早期返還に向けて、戦略の見直し。
- ・ヒグマの市街地出没に対し、国が生態調査を実施し野生動物の専門職員の配置及び、管理活動を行う「実働組織」の整備。

信頼される政治に向けて

- ・国民の生活に密着した政治を最優先に進めます。
- ・裏金問題の再発防止のため、政治資金規正法を改正し、厳罰化を推進します。